

瓦版

桑名七盤勝負
プロジェクト
機関紙第1号

2019年春発行

発行元
桑名七盤勝負プロジェクト
桑名囲碁将棋サロン庵

発行責任者
大川英輝



桑名囲碁将棋サロン庵
ホームページはこちら

第3回桑名ランダムペアアママッチ開催！ 一人で参加、二人で挑戦、チームで争うペアマッチ！

去る5月18日に桑名囲碁将棋サロン庵（以下庵）にて第3回桑名ランダムペアアママッチを開催しました。これは2017年5月21日に第1回を開催した企画で、庵では今回3回目でした。その間東京でも2度開催するなど、一対一で競う桑名七盤勝負とはまた異なる交流に重きを置いたイベントとしてご好評をいただいております。

これまでのランダムペアマッチのレギュレーションを概ね踏襲しつつも、競技種目を事前の参加者アンケートで決定するなどの改良を加えた今回も大変盛り上がるイベントとなりました。得意競技も不得意競技も、さらには初めて経験する競技もある中、参加者は常に教える立場と教えられる立場を代わる代わる体験することになります。コミュニケーションを楽しんでもらうことに重きをおいたイベントなら多くの仕掛けも効果的に作用してました。今回のランダムペアマッチで初めて庵主催のイベントに参加されたポークチョップ選手は「たくさんの方々があって覚えることも多かった。それでも丁寧に教えてくださる方々のおかげで楽しめたので、これをきっかけにいくつかのゲームを続けてみようと思う」と感想をいただくなど、勝敗だけでなく交流重視のイベントとして今後も継続して開催していく予定です。



4つのチームに分かれた参加者、最終的にチームポイントでイベントの成績を競う。昨日の敵は今日の友？



イベントの合間には寿恵広さんからいちごアイス饅頭の差し入れも。

一人でエントリーをして競技毎にランダム生成されたペアで対局に挑む桑名ランダムペアアママッチ。みなさまお疲れ様でした。ご興味がありましたら次回のご参加をお待ちしています。

スカイゲストと七盤勝負

日本スカイゲスト連盟

代表 岩崎匡明

この度、大川代表からペア大会へのオセロ+スカイゲストの試験導入で出場の依頼を頂き、庵さんに2度目の訪問をしました。参加の皆さんはそれぞれのゲームのスペシャリストでしたが、他のゲームに対して実に寛容でした。これまでの私達に欠けていたことかもしれない、そこにはスポーツと武道の差がありました。他を理解する努力により、もっと世界が広がるのではと感じます。イベント終了から数日後に大川代表からスカイゲストの面白さを実感されたことご連絡を頂きました。発信されたばかりのアプリの成長と、オセロ生みの親である故長谷川五郎先生創案のスカイゲストが桑名七盤勝負の種目となることに繋がると願っています。

チームリーダー

高月浩平 朱雀青龍位

桑名七盤勝負ランダムペアアママッチは今回で3回目の出場となりましたが、前回に引き続きチーム優勝を飾ることができ大変嬉しく思います。今回のランダムペアアママッチでは、カード将棋、ツイクスト、スカイゲストといった、桑名七盤勝負の7種目以外からも競技種目が採用されました。スカイゲストに関しては、前日や当日にルールを覚えた方も多かったのですが（私もです）新種目も含め、どの種目も楽しむことができました。「初心者だし、ペア組んだ相方に迷惑かけてしまいうだから」と参加を見送っている貴方。少なくとも私の知っている強豪メンバーに、相方のミスを責めるような方は一人もいません。楽しむ気持ちさえあれば大丈夫なので棋力関係なく、皆で楽しみましょう。

ペア戦の楽しみ方

初参加 Yukina-Gi 選手

通常ペア〇〇は対局中に相手と相談する機会はないが今回の桑名ランダムペアアママッチではあったので何を話すか考えていたが、具体的着手では後が続かないので構想を共有するのがいいだろうと思った。オセロ/ツイクスト/バックギャモンがこの方針で勝利した。よくある「なにをしたらいいかわからない」は「構想を立てられない」とだと認識した次第。これが裏目に出たのがカード将棋。運の要素が強いため構想の立てようがなく時期を逸し、相談カードを使い切れなかった。これを使い切っていれば単独成績首位だったのだが・・・。棋力差を確認して自分が主導したり相手に任せたりが面白かった。ただ一番面白かったのはまともな相談をせずにラッキーパンチをいれた連珠だったりする。

お祭り騒ぎ！

初参加 ポークチョップ選手

第3回桑名ランダムペアアママッチに参加しました。競技種目の過半数（連珠、スカイゲスト、チェス、ツイクスト）が未体験でしたが、親切丁寧にルールを教えてくださいるので安心して楽しめました。必然、私が参加すると戦況は不利になりやすいのですが、ペアマッチ制と相談カードのおかげで予想外の善戦で勝ちたい！と欲が湧いてきます。そんな番狂わせの笑い声やツッコミで賑やかなお祭りのようなイベントでした。連珠やチェスは初心者お断りの敷居の高い競技と決めつけていましたが、今回参加することで少し身近に感じるようになりました。もし未体験の競技に興味がある方はランダムペアアママッチの参加から始めても良いのではないのでしょうか。

スカイゲスト

無料アプリ配信中!

どうぶつしょうぎ cafe いっぷく

株式会社ねこまど | 一般社団法人 Japan Othello Association | 日本オセロ連盟 | gabroh | トイドロップ | 筒井レイナ

5月4日 ウエルカム桑名七盤勝負開催

①自己紹介をお願いします

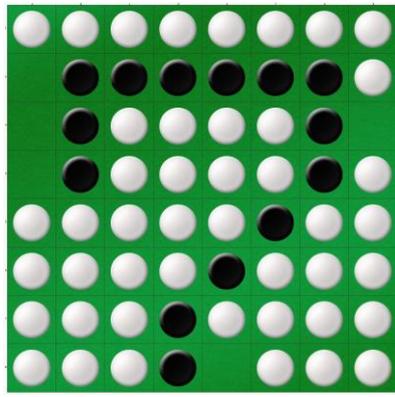
埼玉支部長の女神を拝命しております。まさじぞうと申します。よろしくお願ひします。得意種目はありませんがルールを一番初めに覚えたのは囲碁です。ヒカルの碁ブームに乗りました！

②ウエルカム七盤を思い付いた理由

最近桑名七盤勝負に参加される皆様を拝見していると、得意種目がある人が多く見受けられる気が致します。それはそれですが、カッコよくて憧れます。ただ私が初めて桑名七盤勝負を見たのは初心者大会だったのであるのルールがあやふやな状態で一生懸命対局して楽しそうにされてた皆様のお姿が目には焼き付いており、私みたいな得意種目がなくてルールがあやふやな人でも七盤楽しめるんだよ！というのをアピールしたくて、大会開催・出場を決めました。それに、初心者大会の後に自分が知らない種目の勉強をされたり楽しんだりする方が側にいたので、ああいう風に色々なゲームを楽しみたいという憧れもありました。

③桑名七盤勝負を始めたい方へ一言

実際に体験してみても、こんなに楽しいものは無いと思ひました！実際バックギャモンは方向すらあやしく、回り込み方に教えていただきながらやりま



全消しオセロパズル

7にまつわる全消しパズルです。白から始めて、空きマスなく真っ白にしてください。(出題 郡山支部長 大清水崇典オセロ六段)

3ねこまど将棋教室



参加された皆さんと記念撮影「ようこそ桑名七盤勝負へ」

支部続々誕生 福井支部

福井支部 富岡優

したが、かなり楽しかったです！そのおかげで、今は少しずつバックギャモンの勉強ももって知りたいなあと思っています。ルールが分からないと怖かったり、カッコ悪いなあと思ったり、簡単に負けちゃうのではと色々杞憂に思ってしまうかもしれません、そこは目をつぶってエイッと飛び込んでみてください！色んな自分が発見できるし、楽しいですよ！

皆様、はじめまして。この度福井支部を任されることになった富岡優です。福井市に住んでいます。囲碁が好きで、近くの碁会所へ習いに行っています。未熟者ですが、よろしくお願ひします。去る五月二日、桑名囲碁将棋サロンへお伺いし、代表である大川さんとお話をさせて頂きました。桑名囲碁将棋サロンは親しみやすく、未経験のゲームはその場で親切に教えてくださったりと、和やかな雰囲気を感じました。

第2回桑名七盤勝負東京グランド大会

優勝 高山弦大 玄武位



4月29日板橋駅前レンタルスペースCoHaCoさんで開催



決勝は川合選手(左)と高山玄武位(右)。まさに真剣勝負！

約2年ぶりの世界大会以外の大大会出場でした。幸い優勝することができ大変嬉しいですが、年々レベルは高くなっていてますます競技として活発になっていると感じています。特に今回の東京大会の顔ぶれは世界大会と遜色がなかったです。2年前の自分だったら到底優勝は出来なかったと思ひます。日々の鍛錬の成果が出ていると感じています。

桑名七盤勝負は競技自体もそうですが主催者の「選手たち全員を主役にする」というコンセプトがこれまでの競技の大会になかった魅力だと思ひます。普段の日常生活では味わえない体験です。強さを求めるもよし、イベントを楽しむもよし。トライアポードイアン勢から初心者まで皆が楽しめる世界。益々の広がりに期待しています。



福井から桑名へ。支部設立のため、来てくださった富岡支部長

二回目の訪問では実際に桑名七盤勝負も対局してみました。とても慌ただしくも、楽しい時間となりました。福井支部は当面私一人ですが、自身のさらなる上達に努め、新たな仲間も増やしていきたいです。またそのうち福井県での大会や合宿などイベントを企画していきたいと思ひます。福井は自然いっぱい良いところですよ。皆さんも是非一度福井へ遊びにいらしてください。ぜひお待ちしております。

黄龍位称号防衛戦記録

西田直樹 黄龍位

黄龍戦を一言で表現するなら「楽しい」持ち時間が一人70分。たっぷり2時間以上桑名七盤勝負に没頭できる。これだけあれば連珠で長考しても時間は切れないはずだ。挑戦者は高月朱雀青龍位。全競技とも高パラメータで戦略に長けた強者である。終盤戦一約20分間長考した連珠(黒)囲碁、バックギャモンを先取され0対3。残り時間も高月選手が10分程多かった。精神的なダメージでヨロヨロしてしまっただけ諦めなかったのが良かったのだろう。そこから3つを返してスコアは3対3。チェス決着まで押し返した。残り時間相手5分自分2分。チェスはRエンディングで終わりが見えない。とにかく早く手を動かすしかない。(誰だ、時間切れは無いなんて思っていた奴は！)バタバタしている間に自分だけQ出来たが残り15秒を切る。後は時間との戦い。対局時計を叩き合う音が響く。決着がついた時は残り6秒だった。辛勝。お互い2時間を戦い、抜け殻となった。高月朱雀青龍位、自分共にお疲れ様を。全てを出しきった勝負ができて本当に良かった。



5月19日称号戦決着後 高月朱雀青龍位(左)と西田黄龍位(右)